

探索保育研究会特別企画



加藤繁美氏 講演



対話の時代の保育の課題 — 歴史に学び、歴史に生きる —



講師からのメッセージ：不確実で多様性に富んだ課題との対話は、答えのわからないことに向き合い、自分と違う他者を分かろうとし、新しい自分と出会う楽しい行為です。でも、社会全体が対話を忌避する空気に充ち溢れる中で、対話することに重苦しさを感ずてしまうのも事実です。

周囲に広がる世界と対話し、知らない他者と対話し、希望とともに未来と対話する乳幼児をみていると、世界はまだ可能性に満ちていると感じずにはいられません。そんな対話の保育実践の意味を、歴史的・社会的視点を加えながら考えてみたいと思います。

講師プロフィール：東京家政大学子ども学部教授。国立大学法人山梨大学で講師、助教授、教授を務めた後、2018年4月より現職。保育実践のあるべき姿を保育者—子ども関係に焦点を当てた研究に並行して、保育・幼児教育制度に関しても研究している。主な著書に『保育・幼児教育の戦後改革』（ひとなる書房、2021年）『子どもとつくる0歳児保育～5歳児保育』（監修・ひとなる書房、2011～2016年）『0歳—6歳 心の発達と対話する保育の本』（学研教育出版、2012年）『対話的保育カリキュラム(上)』（ひとなる書房、2007年）『対話的保育カリキュラム(下)』（ひとなる書房、2008年）※『対話的保育カリキュラム(上・下)』は日本保育学会から保育学文献賞を受賞。

参加料

無料

〔日時〕 2022年2月19日(土) 14:00～16:00

〔場所〕 オンライン開催(下記メールにお申込みいただきましたら、URLをお知らせいたします。当日参加でなく録画配信希望の方もご一報ください。)

山梨大学主催〈探索・発見・創造・共同に基づく地域の教育文化創造プロジェクト〉
山梨県私立幼稚園連合会・山梨県保育協議会・山梨県認定こども園設置者連絡会共催

今後の探索保育研究会(予定) ①2022年3月1日②3月2日

コロナ禍のなかで、気になること、話してみませんか。裏面をご覧ください。

お申込み(2月18日13時)
お問い合わせ

URL <https://www.facebook.com/tansakuhoiku/>
MAIL tansakuhoiku@gmail.com